

一般質問通告書

受領日時 令和5年6月5日 午前8時30分

1番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 国道 285 号線富津内バイパスについて	<p>(1) 国道 285 号線富津内バイパスの事業概要について。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現在実施しているバイパス工事の工事発注者、工事区間、工事期間、施工延長、工事費などをお知らせ願う。 <p>(2) バイパス工事に伴う説明会には、町担当課も出席したのか。</p> <p>(3) 用地交渉はどのようにして行われたのか。残地補償費、残地の売買などについて聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 土地所有者が残地の利用ができないと判断し、低価格で購入について話し合いをし売買した人と、その話をしづらかったことにより商談ができなかった人がいたと聞いた。 <p>町担当課が説明会などに参加しているのであれば、そのような配慮をしてやることも大切と考えるが。</p> <p>(4) バイパス工事が完了した後、現道の管理は、県管理になるのか、それとも町管理になるのか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現道について、破損箇所や現道の隣接住民の意向などをしっかりと把握した対応を願う。(宅地や田んぼなどの関係)
2 浅見内地内の「谷地田橋」について	<p>(1) 谷地田橋の高欄が低くて危険。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昭和 51 年 12 月に竣工した浅見内地区の谷地田橋の高欄が低くて危険である。嵩上げをするか、または新設を願う。 <p>高欄の高さが 60 cm しかなく危険である。以前、座談会などで子どもが川を覗いている時に落下の危険性があることから、背の高い高欄に変更願いたい旨のお願いをした経緯があるとのこと。</p> <p>現在は、高齢者の多い限界集落になってしまったが、足腰が不安定の方が多くなり、現状の高欄の高さではよろけて落下する危険性が大きくなっている。</p> <p>(今年 3 月に完成した県道 4 号線に架かる橋「家の沢橋」の高欄の高さは、85 cm である。谷地田橋との差が 25 cm ある。)</p>

<p>3 県河川「内川川」の中洲の除去について</p>	<p>(1) 県河川「内川川」の中洲の除去を引き続き願いたい。 ・ 今月 6 月末の工期で「谷地田橋」から下流に向かい、湯の越温泉付近までの中洲の除去を実施いただいている。誠に感謝である。引き続き実施していただかないと、上流の流れが良くなることから、施工以降の下流の流れが悪くなっていることによりオーバーフローの危険性が出てくる。引き続き除去工事を望むものである。</p>
<p>4 救急車のベッドについて</p>	<p>(1) 交通事故などで救急搬送をされた方の話だが、(肋骨を損傷) 救急車のベッドがとても硬く、損傷した箇所には振動が響いて非常に痛い思いをし搬送されたと聞いた。 救急車のベッドには、スプリングが付いていないのか。 衝撃吸収の大きい、ストロークの大きなスプリングの付いたベッドに変更できないものか。</p>
<p>5 まだ使用できる備品などの処理の仕方について</p>	<p>(1) 学校の統廃合や新校舎の建築に伴い発生した備品などについては、広報などにより町民に周知して値段は定めずに寄付金として納めていただき、少しでも町の財源に繋げていることは評価するものの、寄付金の多い少ないには関係なく、早いものが優先であったりと、少し納得のいかない備品の引き渡しをしていたと感じている。 また、小型消防ポンプ車においては、日本消防協会が勧めている消防車国際援助事業へ年経過した消防団の旧車両を提供し、国内で保管されていた 4 台のうち 2 台が、パラグアイに到着したと報告があったと聞いた。廃車されず役に立つという事例は喜ばしいことと感じている。 今後もこの様な色々な備品が出てくると思うが、これらの備品を Yahoo などのオークションに載せるなどして、少しでも高額な財源確保につながる様な手段を取るのもどうかと感じている。 税務課では、税の滞納者へのペナルティとして差し押さえという手段をとる。その差し押さえした物件をオークションにかけて滞納税額に充当している。是非、町の財源確保のために検討してみてはどうか。</p>